

令和4年度 土地改良事業地区営農推進功労者表彰

表彰式と受賞の取組の紹介

令和4年度関東農政局土地改良事業地区営農推進功労者表彰の受賞者が決定し、令和4年12月2日（金曜日）に表彰式を開催しました。今回は2年ぶりに新型コロナ感染防止対策を行いながら対面での開催としました。表彰式の概要と受賞者の取組内容をご紹介します。



営農推進功労者表彰とは？

関東農政局土地改良事業地区営農推進功労者表彰は、関東管内の国営及び県営土地改良事業地区で、土地改良事業により整備されたほ場や水利施設等の活用促進のための取組や生産技術の向上、農業経営の改善のための創意工夫によって、他の模範となり、事業及び営農の推進に貢献のあった方々を表彰し、その功績を称えています。平成3年度から行っており、国営及び県営土地改良事業地区（単独）での受益農家、営農推進組織の取組を対象としています。

令和4年度表彰について

令和4年度も新型コロナ感染拡大の中での表彰の実施になりました。県、国営事業所に依頼し、候補者を推薦いただいておりますが、新型コロナ感染拡大の影響で制約が多い中、関係機関の皆様にご尽力いただきました。

その中で茨城県から(株)JA常陸アグリサポート、長野県から(有)細田農産、静岡県から西原地区基盤整備組合、国営事業所から吉川氏と(農)鹿島を推薦いただき、選考委員会での審査を経て受賞者に決定いたしました。

新しい表彰式のかたち

表彰式は新型コロナ感染拡大防止対策を行いながら令和4年12月2日（金曜日）にさいたま新都心合同庁舎内の関東農政局で開催いたしました。

開会にあたり、大角局長に挨拶をいただき、続いて選考委員会委員長である北林局次長から受賞者の受賞理由について審査講評を行いました。大角局長から受賞者へ表彰状と花束を渡し、受賞者、各地区の関係機関、大角局長、選考委員との記念撮影を行いました。

授与式のあとに受賞者と大角局長、選考委員が出席して意見交換を行い、受賞者から各地区での取組内容をご披露いただきました。受賞者からは6次産業化や農地集積を進めていく中での苦勞、よりよい農政のためのご意見をいただきました。

来年度も新たな生活様式の中で表彰を実施していきたいと考えています。

受賞者の取組内容

令和4年度の受賞者の皆様の各地区での取組内容をご紹介します。
皆さんの地区での営農推進の取組の参考としてはいかがでしょうか。
取組内容の詳細は関東農政局ホームページに掲載してありますので、こちらも御覧下さい。
〔掲載アドレス〕

<http://www.maff.go.jp/kanto/nouson/shigen/hyoushou/R4hyoushou.html>

(敬称省略)

受益
農家

吉川 勝久（茨城県水戸市） ～農地集積と大区画化で作業効率アップ～

取組のポイント

- ①本地区塩崎団地の代表として農地の集積・集約化を推進。積極的に農地を引き受け経営面積を拡大。
- ②10a～20a区画の水田が事業により最大2haに大区画化。プール育苗、農業用ドローンを導入し省力化。
- ③10haで輸出用米を栽培し、JAを介して、(株)百笑市場へ出荷販売。また、卸売業者と契約し業務用米を出荷。



国営緊急農地再編整備事業「茨城中部地区」の概要
関係市町：茨城県水戸市、茨城町
受益面積：675ha
工 期：平成28年度～令和7年度
事業目的：区画整理
主要工事：区画整理675ha、末端水路 L=177.2km、
暗渠施工624ha

経営体の概要

従事者数：5人（家族）
経営面積：76.0ha
主要作物：業務用米、輸出用米、縁故米、
加工用米、もち米、飼料用米

受益
農家

(株)JA常陸アグリサポート（茨城県常陸大宮市） ～応援します！あなたの農業。守ります！地域の農業～

取組のポイント

- ①畑総事業の実施にあたり、農地中間管理機構を活用して、本法人に農地を集積。
- ②本事業による畑かん用水の導入により野菜栽培を実現。さらに、天候に左右されない栽培出荷体系を確立。
- ③かんしょの出荷先を開拓し、令和2年度から大手食品メーカーと取引を開始。焼き芋、なすの漬物を道の駅等で販売。



県営畑地帯総合整備事業「三美地区」の概要
関係市町：茨城県常陸大宮市
受益面積：31.9ha
工 期：平成20年度～令和2年度
事業目的：区画整理、用水改良
主要工事：区画整理 31.9ha、用水路 L= 6.7km

法人の経営概要

代表取締役：鈴木秀行
設 立 年：平成28年
社 員：57人、販 売 額：830百万円
経営面積：233.5ha
主要作物：主食用米、WCS用稲、麦、そば、
かんしょ、ねぎ、にんじん

土地改良事業地区で創意工夫を凝らし、営農推進に取り組んでいる組織、栽培技術の向上、低コスト化、農地の集積・集約化等に取り組んでいる農家の方がいらっしゃいましたら県、国営事業所の担当者にお声がけください。

受益
農家

(農)鹿島(千葉県佐倉市)
～未来を見据えた経営と地域振興～

取組のポイント

- ①平成7年の設立当初から将来を見据えて、4.9ha区画のほ場で効率的な農業を実践。地域振興構想も策定。
- ②特別栽培米の栽培に地域でいち早く取り組み、国営事業の目的である印旛沼の水質保全にも貢献。
- ③平成25年にマルシェかしまをオープンし、特別栽培米や、開発した米粉の加工品を販売。



岡本代表

国営かんがい排水事業「印旛沼二期地区」の概要
関係市町：千葉県佐倉市外3市2町
受益面積：5,002ha
工 期：平成22年度～令和6年度
事業目的：用排水改良、区画整理（水質保全）
主要工事：機場6箇所、水路L=54km

法人の経営概要

代表理事：岡本 隆
設立年：平成7年
組合員：20人 社員 6人 販売額：64百万円
経営面積：44ha
主要作物：主食用米、WCS用稲、飼料用米

受益
農家

(有)細田農産(長野県安曇野市)
～規模拡大し多品目栽培で周年栽培通年雇用～

取組のポイント

- ①法人化した中核農家が、積極的に農地中間管理機構を活用して農地集積を推進。
- ②規模拡大に伴い、経営の安定を図るため、農業用水を活用しアスパラガスを新規導入。
- ③長野県の水稲育成品種である「風さやか」の研究グループを立ち上げブランド化にも取り組む。



国営かんがい排水事業「中信平二期地区」の概要
関係市町：長野県松本市外2市2村
受益面積：8,847ha
工 期：平成17年度～平成26年度
事業目的：用水改良
主要工事：頭首工1カ所、用水路L=28.5km

法人の経営概要

代表取締役：細田直穂
設立年：平成15年 社員数：6人
販売額：80百万円 経営面積：63.4ha
主要作物：主食用米、もち米、酒米、飼料用米、大豆、小麦、そば、アスパラガス

推進
組織

西原地区基盤整備組合(静岡県島田市)
～次世代に繋ぐ、地球上でもっとも強く美しい茶園整備～

取組のポイント

- ①将来的に安定した茶生産を実現するため、西原地区全体の整備構想を策定。1地区あたりの整備面積は約5ha程度にすることで工事完了までの期間を短縮。
- ②畝方向を南北に統一。幹線農道と畝を平行に、支線農道は東西方向に配置することで乗用作業機の導入を可能に。
- ③狭小で分散していた茶園を担い手農家3戸に集積して50m区画に整備したことで81筆を27筆に集約化。



組合の中心メンバー

県営農地耕作条件改善事業「西原地区」の概要
関係市町：静岡県島田市 受益面積：4.9ha
工 期：平成27年度～29年度
事業目的：区画整理
主要工事：暗渠排水、土層改良、農業作業道

組合の経営概要

代 表：井村典生
設 立 年：平成27年
組 合 員：30人
主要作物：茶